Vol.51

YOU★I

誰もが自分らしく　イキイキと暮らせるまち

むさしむらやま

Contents

■（特集）武蔵村山市第四次男女共同参画計画「ゆーあいプラン」が策定されました　P02-P03
■武蔵村山市で活躍している「ゆうあい人」の紹介　P04-P05
■男女共同参画センター「ゆーあい」からのお知らせ（相談事業、図書のご案内）　P06−P07

フリーWi-Fiが使えるようになりました

男女共同参画センターの図書コーナー、多目的室１，２、学習室でフリーWi-Fiの利用が可能になりました。WEB会議、リモートワーク等にもお役立てください。
快適なWi-Fi環境を保つために、一度に使用できる台数は５機に限らせていただきます。受付にてパスワードをお伝えいたしますので、お声がけください。

FOLLOW US ON

Web Page
https://fureai.csplace.com/

facebook
https://www.facebook.com/furesen/

Instagram
https://www.instagram.com/you_i.fureaicenter/

LINE 公式アカウント
https://lin.ee/ce4cGPy

twitter
https://twitter.com/fureaicenter

シーズプレイス・東建社グループが指定管理者制度により管理運営を行っています。

発行年月　2020年9月
編集・発行　武蔵村山市男女共同参画センター「ゆーあい」（武蔵村山市立緑が丘ふれあいセンター）
所　在　地　〒208-0012 東京都武蔵村山市1460-1111-1
TEL 042-590-0755 Mail fureai@csplace.com
HP https://fureai.csplace.com/

武蔵村山市第四次男女共同参画計画「ゆーあいプラン」が策定されました

基本理念

誰もが自分らしく　イキイキと暮らせるまち

むさしむらやま

ゆーあいではこの基本理念、基本目標に基づき、すべての市民が性別等に関わりなく**「誰もが自分らしくイキイキと暮らせるまち」**の実現を目指します。また、この基本目標を市民ひとりひとりが自分事としてとらえられるように、講座やパネル展示等で啓発、広報していきます。

女性活躍推進計画

基本目標１

女性活躍と
ワーク・ライフ・バランスの
推進

ゆーあいでの取り組み

子どもに関わる仕事がしたい
子育て経験をいかしたい方に

保育スタッフ育成講座

好きな事、得意なことを仕事にしたい方、同じ思いを持つ人と交流したい方に

起業のたね

起業したい、キャリアアップがしたい方に

チャレンジ相談会

再就職をしたいけれど、ブランクがある、または不安がある方に

再就職セミナー

女性活躍の支援、男性の長時間労働の緩和等について考え、ワーク・ライフ・バランス（※1）を確立出来るよう啓発をします。

DV防止法基本計画

基本目標２

あらゆる
ハラスメントの根絶

あらゆるハラスメントの根絶を目指します。また、ハラスメントについて知る機会を作り、加害者にならないための学びを深めます。

センター内・市役所等でのパネル展示

こころの保健室（一般相談）
女性弁護士による法律相談

ゆーあいでの取り組み

基本目標３

誰もが平等を
実感できるまちづくり

さまざまな分野の問題をジェンダー視点で話し合う座談会

ジェンダーカフェ

父親とこどもでの家事チャレンジ講座

パパ子料理講座

生まれた性別に固執されずジェンダー（※2）の視点で、誰もが自分らしく暮らせるまちづくりをします。

男女共同参画をこどもたちにもわかりやすく伝える

小学校出張授業

基本目標４

すべての分野での
男女共同参画の推進

すべての分野で誰もが暮らしやすい仕組み作りをします。

男女共同参画を身近に感じてもらうために、年に一度、様々なテーマで行う講演会

YOU・I
フォーラム

※1　ワーク・ライフ・バランス　「仕事」と子育てや介護、地域活動、自己啓発等の「仕事以外の生活」を、自ら希望する形で調和させることが出来る状態の事

※2　ジェンダー　「社会的・文化的に形成された性別」のこと。社会通念や慣習によって作り上げられた男性像や女性像のこと。

武蔵村山市で活躍している
個人・団体を紹介

ゆうあい人

みらいのたね保育園スタッフ

近江ゆかりさん

プロフィール
近江ゆかりさん
3児の母。現在は立川市にある
『みらいのたね保育園』で保育補助をしている。

昨年緑が丘ふれあいセンターで開催した保育スタッフ養成講座」を受講された近江さんに受講前と現在の生活や心境の変化をお話ししてもらいました。

講座を受けようと思ったきっかけは？

◆子どもに携わる仕事」をしたいと以前から思っていて、子どもが少し手を離れたタイミングで仕事をしたいと思っていたのですが、なかなか一歩を踏み出せずにいました。目の前にチャンスが来たらやろう」と思っているときに、講座の情報を目にしたんです。どんなものなのか、無知だったので不安もあったけれど思い切って申し込んでみました。

講座を受ける前と受けた後では心境に変化はありましたか？

◆はい、ありました。子どもの心身の成長について学ぶことが出来たし、保育園の先生はこんなにも子どもの成長を考えながら接してくれているんだなという事を知り、ありがたいなと思いました。そして保育に携わっていきたいと強く思うようになりました。

現在、保育補助の仕事についたという事ですが、家庭との両立で不安なことはありましたか？

◆保育園で働いてみないか」と声をかけていただいた時は飛び上がるほど嬉しかったのですが、その後に不安が押し寄せてきました。今まで仕事をしないで三人の子どもを育ててきたので、どうやって家事、育児、仕事を両立させていけばいいのかが分からなくて。周りの働いているお母さんたちにどうしているのかを聞いたら、お母さんが頑張っているのを見たら、子どもも成長するよ」と言われて不安な気持ちが吹っ切れたんです。上の子二人はもう大きいので私が家にいないことがそんなに心配ではないのだけれど、小学校に通う末っ子が気がかりでした。自分のやりたいことのために子どもたちを犠牲にしているんじゃないかと考えてしまっていて。でもある日、保育園であったことを一番下の子に話していたら、ママ、夢がかなったね」って言ってくれたんです。

実際に働いてみてどうでしたか？

◆子どもの急な体調不良でお休みしてしまった時に、仕事より子供を優先してもいいのかと考えていたら、自分の子が第一だから。何かあったら休んでも大丈夫」と言ってもらえ、とても助かりました。トップの方や職場の理解があるとこんなに働きやすいんだと、とてもありがたく思いました。働く前に感じていた不安は徐々に解消されて行って、働く前よりも生活が充実しているなと思っています。

一年後と十年後の目標を教えてください。

◆近い目標としては、もっと専門的な勉強をして、保育士試験を受けたいです。園の子どもたちと接していて、もっと知識があれば、もっと上手に接することが出来るんじゃないかと感じることがあって。なので、保育士を目指して学びを深めていきたいと思っています。

十年後というか、将来的にはママたちの支援がしたいなと思っています。頼るところがなかったり、悩みを相談できる人がいなくて、一人で苦しんで虐待に走ってしまうママはきっと少なくないはず。

虐待している方だって、何か辛さを抱えているかもしれない。そういう人たちが気軽に話をできる場所を作りたいと、今はまだ漠然としているけれど考えています。

最後に、何か伝えたいことはありますか？

◆初めの一歩を踏み出すのはすごく勇気が必要だったし、不安もあったけど踏み出してみたら、想像もしていなかった世界がありました。知識を得るために参加した講座で夢を語り合え、相談できる素晴らしい仲間に出会えて、夢だった保育園の仕事にも就くことが出来、勇気を出して本当に良かったと思っています。

取材後記

将来の展望について話している近江さんは、とてもいきいきとしていました。講座を企画した私たちも、こんなに誰かの役に立てるんだという事を実感し、とても嬉しく思いました。

今後も近江さんを応援し、何か一緒にできることを楽しみにしています。

（ふれあいセンター副センター長　南　葉子）

男女共同参画週間パネル展を開催しました

内閣府が提唱する「男女共同参画週間（6月23日～29日）」に合わせ、「男女共同参画週間パネル展」を開催しました。
また、同時にハラスメントについても展示を行い、今般問題になっているコロナの感染拡大による「コロナ・ハラスメント」についても取り上げました。

BOOK

図書のご案内

男女共同参画センターゆーあいでは、図書コーナーを設けており1人2週間10冊まで借りることができます。今号では3冊をご紹介します。

『女性の権利宣言（ビジュアル版）』

著者：シェーヌ出版社（編），遠藤 ゆかり（訳）

女性の権利における重要な宣言文、オランプ・ド・グージュの「女性および女性市民の権利宣言」と1967年に国連が採択した「女性に対する差別の撤廃に関する宣言」を、31人の現代芸術家が解釈したイラストと共に紹介。わかりやすい文章とイラストで女性の権利宣言について学べます。

『そして<彼>は<彼女>になった』

著者：細川 貂々　出版社：集英社インターナショナル

安冨教授が、家族の呪縛や窮屈なジェンダーを乗り越え「女性装」を始める様子か漫画で描かれています。相棒・ふぅちゃんの想いにもこ注目下さい。

『主夫になってはじめてわかった主婦のこと』

著者：主夫芸人・中村シュフ　出版社：猿江商會

「家庭に入ってくれないか」と彼女にプロポーズをされ、主夫になることを選択した筆者の経験談。主夫（主婦）として家事をする人と、家事をしない人の価値観がわかりやすく書かれています。
実際やってみないと見えてこない主婦の大変さを、ユーモアと読み手の気持ちをつかむ文章でとても読みやすくなっています。

悩んでいませんか？

例えば・・・

- 夫の暴力に悩んでいる
- 仕事が長続きしない
- 気持ちが落ち着かず毎日起きるのが辛い
- 離婚したいけど…どうしていいかわからない
- 相談する人が周りにいない

ご自身のこと、家族のこと、友人関係、職場関係など悩んでいることはありませんか。
専門の相談員がお話をうかがいます。お気軽にお問合せください。

女性弁護士による法律相談

◆毎月第３水曜日午後5時～7時
◆毎月第３土曜日午後2時～4時
◆ひとり25分

こころの保健室（一般相談）

◆毎月第2土曜日午後2時～4時
◆ひとり40分

※相談の際はご予約をお願いします。電話042-590-0755
来所相談、電話相談どちらもお受けします。
保育も付きますので、まずはお気軽にご相談を。